

（第 1 面）



産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 30 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区中里町 29-3  
氏 名 株式会社加賀田組東京支店  
執行役員支店長 宮澤 稲夫  
電話番号 03-5206-5660

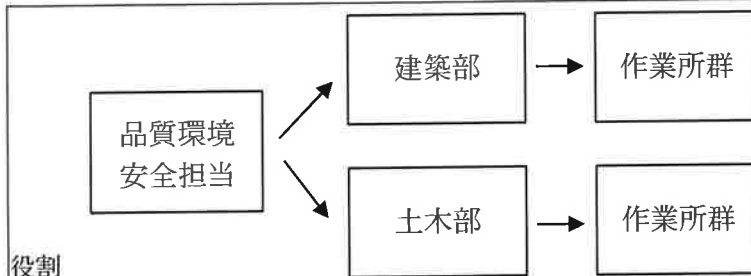
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社加賀田組東京支店
事業場の所在地	東京都新宿区中里町 29-3
計画期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 従業員数	92 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 汚泥：再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ 廃プラスチック：再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分</li><li>・ 紙くず：再生処理業者へ委託→再資源化・中間処理業者へ委託→焼却</li><li>・ 木くず：再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ 金属くず：再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず：再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分</li><li>・ がれき類：再生処理業者へ委託→再資源化</li><li>・ 石膏ボード：再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分</li><li>・ 混合廃棄物：中間処理業者→分別、再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分</li></ul>

（日本工業規格 A 列 4 番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



役割

- 品質環境安全担当：・廃棄物処理方法の策定 ・廃棄物管理ルール of 策定  
 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認、監視
- 各 部：・産業廃棄物管理状況の把握と改善策の検討  
 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
- 作業所群：・廃棄物処理計画の作成 ・委託契約の締結  
 ・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	5941.6 t	14.7 t
	（これまでに実施した取組）  過大な梱包材は現場に持ち込まない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	3000.0 t	7.0 t
	（今後実施する予定の取組）  上記に加え、材料のロスを削減することに注力する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
	排 出 量	3.3 t	6.2 t
	(これまでに実施した取組)  過大な梱包材は現場に持ち込まない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
	排 出 量	1.5 t	3.0 t
	(今後実施する予定の取組)  上記に加え、材料のロスを削減することに注力する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くずの分別の実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、がれき類の分別の実施する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	5941.7 t	14.7 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	2359.3 t	14.7 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	5941.7 t	14.7 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。再生利用可能な廃棄物は、再生利用業者へ処理を委託。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3.3 t	6.2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3.3 t	6.2 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.3 t	6.2 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 再生利用可能な廃棄物は、再生利用業者へ処理を委託。</p>		

③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	3000.0 t	7.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3000.0 t	7.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	3000.0 t	7.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで通りの取り組みを行う。		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	1.5 t	3.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.5 t	3.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.5 t	3.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで通りの取り組みを行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。